
QA7-4 航空機モニタリングでは、何を測定しているのですか。

A

- ① 航空機モニタリングでは、航空機やヘリコプターを使って、地表面から放射される γ （ガンマ）線を上空から測定し、その測定結果を基に地上から1 mの高さの空間線量率に換算しています。
- ② 航空機モニタリングの特色は、里山や山林など人による測定が難しい場所を含む広範な地域を一括して測定でき、また、地上の平均的な放射線量に換算するのに有効な手法であることです。

統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第2章 44ページ「様々な測定機器」

下巻 第7章 13ページ「空間線量率の推移（80 km圏内）」

下巻 第7章 14ページ「空間線量率（広域）」

出典：原子力規制委員会「総合モニタリング計画」（平成23年8月2日モニタリング調整会議）より作成

出典の公開日：平成23年8月2日

本資料への収録日：平成29年3月31日